

十二月十一日 日曜日

山田脩二の軌跡、兵庫県立美術館カタログの為の原稿書くも、うまくゆかず、七、八枚没にする。山田の事だ。十枚二時間で書いてしまおう、というのが何ともはや、うまくいかなかった。構えたわけではない。勿論淡々として書くことと思つたのが上手くゆかなかった。少し計り考え込んでしまう。ホームページのコラムスタイルを新しいスタイルに代えたのが、こんな風に響いてきているのか。ウェブサイトの方は何のとどこおりも無く進んでいるのだが。

夕方、佐藤論よりTEL。佐藤健の会は今年は四人位でやりたという。もう三年になるな、健がいなくなつてから。

十二月十四日

十二時研究室。打合わせ少々。十三時頃淡路島の山田脩二氏来室。明日のレクチャーの準備の後、いささかの、まじめなインタビュー。脩ちゃんと真面目に話したのは何十年振りだな。面白かった。兵庫県立美術館の「山田脩二の軌跡」展カタログの為に十枚程書くので、チョツと聞きたい事があつた。いいのが書けそう

だ。
二十一時過、次女友美アメリカより一時帰国。やはり顔を見ると安心する。

十二月十五日

十二時、農村研究会。八十五名の参加者。

農文協甲斐氏事例報告。淡路島山田脩二淡路百景。利根町佐藤さん百人スクール。石山研野村、丹羽、渡辺、提案。結城登美雄、甲斐、高野孟、利根町長、座談。のプログラム。山田脩二に初めて接した人は驚いたろう。皆どう思われたか知らぬが、山田さんに来て貰つて良かった。いずれ、お百姓さん達に参加していただくようになったら山田さんは不可欠な人材だ。十六時半修了。利根町の方々にはおにぎり、おそうざい、おしんこ等用意していただき、御礼も言えず失礼した。町長さんも、いきなり座談に参加していただいた失礼を大目に見ていただきたい。

新潟市長篠田昭氏、市政創造推進室高橋建造氏参会。研究会終了後研究室で話す。利根町に引き続き新潟市が²¹世紀農村のケーススタディの場になつてくれると良いな。十八時新大久保近江屋で懇親会。佐賀新聞の梅木君も遠くから駆けつけてくれた。いずれ佐賀でも²¹世紀農村のひな型を試みたい。

修了後、新宿池林坊で、山田、甲斐、梅木と少々飲む。山田脩二絶好調の半日であつた。

一月は趣きを少し変えて、場所を利根町に変えてみるのも良いかなとフト思つたりした。二十三時半世田谷村に戻る。

北海道十勝で高野氏と坂田明が隣人であつたのを初めて知る。結城さんは明日から沖縄だそうで、忙しい日々を相変わらず送っているようだ。体をいたわっていただきたい。

研究室の連中も良く準備してくれた。